



Title	太宰治スタディーズ 第1号 編集後記 奥付
Author(s)	
Citation	太宰治スタディーズ. 2006, 1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/97256
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

太宰治スタディーズ

太宰治スタディーズ 第1号

2006年6月19日発行

「太宰治スタディーズ」の会

発行者：「太宰治スタディーズ」の会

発行所：斎藤理生

〒371-0044

前橋市荒巻町4-2

群馬大学教育学部内 斎藤研究室

印刷：よしみ工産株式会社

編集後記

■「太宰治スタディーズ」第1号をお届けします。創刊号の特集テーマは『斜陽』。研究史分析(6本)、研究論文(11本)を掲載しました。

■「太宰治スタディーズ」の会は、2004年3月に活動を開始しました。呼びかけ人である松本和也を中心に、太宰文学を研究する若手が所属大学を超えて集まり、読書会を開いたのが始まりです。以後、読書会や研究発表会を継続的に行ってています。

■「太宰治スタディーズ」のメンバーは、太宰文学という共通の研究対象を基軸にもちつつ、より広い研究領域へと各々の「読み」を開いていこうと試みています。戦後という時代、ジェンダーとセクシュアリティ、語る主体、メディアと表象……太宰文学を「読む」ことを通じて、さまざまな問題系に私たちはどうにコミットすることができるのか。『斜陽』研究会を重ねつつ考え、議論する機会を得てきました。それは『斜陽』というテクストを「読む」ことであると同時に、現在の私たちの問題意識をテクストによって照らし出されること——すなわちテクストに「読まれる」ことでもあったと思います。

■第1号の編集担当は以下の通りです。ディレクター：吉岡真緒・大國眞希・萬所志保、レイアウトおよび編集：内海紀子。表紙写真は小澤純が撮影しました。よしみ工産株式会社ほか、小誌刊行にご尽力下さった皆様にお礼を申し上げます。

■「太宰治スタディーズ」を、私たち自身の問い合わせの場として、また太宰文学をはじめ文学研究者によるネットワーク形成のきっかけとして生かしていきたいと願っています。ご意見等いただければ幸いです。(内海紀子)